

「精神科受診時における精神症状に関連する要因の解明」 について

2019年6月1日から2021年5月31日の間に
精神神経科を受診された患者さんへ

研究機関 獨協医科大学病院 精神神経科
研究責任者 古郡規雄（准教授）
研究分担者 佐藤由英、横山沙安也、佐々木太郎、佐々木はづき、篠崎将貴、岡安寛明、長谷川千絵、
川俣安史、菅原典夫、下田和孝
藤野遥香*、山田桃歌*、中村俊太郎* *獨協医科大学 医学部

このたび獨協医科大学病院 精神神経科では、問診票を用いて初診時や再診時の精神症状に関連する因子の解明に関する研究を実施しております。本研究は獨協医科大学病院が主体となって行われるものです。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、患者さんのプライバシーの保護については法令等を遵守して研究を行います。

あなたの情報について、本研究への利用を望まれない場合には、担当医師にご連絡ください。

1. 研究の目的 及び 意義

精神科診療における診察は患者医師関係の確立、病歴聴取、精神症状の把握、診断、治療、社会参加の支援など、様々な役割をもっている。精神状態の評価だけでなく、社会適応、家族関係、生活習慣に関する情報など患者の持つすべての背景について知る必要がある。はじめての精神科受診では、限られた時間のなかで症状をうまく伝えられない人も多いため、獨協医科大学病院精神神経科では問診票を利用しています。問診票の中には主訴、経過、性格、生活歴、家族関係、主要症状の確認項目を記載することになっています。そこで、本研究では問診票の情報を基に、統合失調症、気分障害、神経症、認知症の精神症状の構造や関連因子の解明に加え、より良い診療の開発を目指します。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2019年6月1日から2021年5月31日の間に受診されたすべての患者さんを対象とします。

2) 研究実施期間

2021年5月1日～2023年3月31日

3) 研究方法

過去の2年間の診療情報を活用して、当院で診療を受けた内容を検討するもので、横断研究と呼ばれるデザインになります。

4) 使用する試料・情報

◇ 研究に使用する試料

なし

◇ 研究に使用する情報

診療基本情報；年齢、性別、罹病期間、診断名(DSM-5による)、
問診票の記載内容：主訴、家族関係、生活歴、性格、うつ状態、精神病状態、自閉症傾向、診療への満足度

5)情報の保存

本研究に使用した情報は、研究終了後5年間保存します。また、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、ポスターおよび病院webサイトでお知らせします。

6)研究計画書の開示

患者さん等からのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、本研究計画の資料等を閲覧することができます。

7)研究成果の取扱い

この研究の成果は、研究対象者となる患者さん等の個人情報がわからない形にした上で、学会や論文を発表することがあります。

8)問い合わせ・連絡先

この研究についてご質問等ございましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、2023年3月31日までに下記にお申し出ください。資料・情報の使用を断られても患者さんに不利益が生じることはありません。なお、研究参加拒否の申出が、既に解析を開始又は結果公表等の後となり、当該措置を講じることが困難な場合もございます。その際には、十分にご説明させていただきます。

獨協医科大学病院 精神神経科
研究担当医師 古郡 規雄
連絡先 電話：0282-86-1111（代表）
（平日：9時00分～17時00分）

9) 外部への情報の提供

本研究では生体からの試料は発生せず、また、外部への情報の提供は予定しておりません。